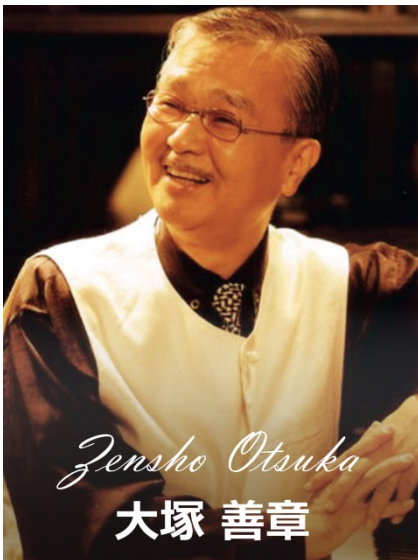


(大塚善章クインテット)

大塚善章 (ピアノ)



1934年大阪市出身 88歳現役ジャズ・ピアニストにして関西ジャズ協会会長。

大阪府立高津高校在学中に校歌を作曲、現在も歌い継がれている。

関西大学在学中より演奏活動を開始し、1959年「古谷充&フレッシュメン」結成に参加。16年間在籍し作編曲も担当、数多くの作品を残した。現在は後進の育成に努めながら自己のトリオ、クインテットを率いて活動中。尚、2015年所属するジャズトリオ「ゴールデン・シニア・トリオ」が平均年齢87歳132日の『世界最高齢のバンド』としてギネスブックに認定された。

田中洋一 (トランペット)



1972年 奈良市出身。

1994年 関西外国語大学中退後、米国に単身渡米しバークリー音楽大学でジャズを学び、ケン・セルベンカ、ジェフ・スタウト、ダレン・バレットに師事。

帰国後演奏活動を開始し、2000年 関西の老舗ビッグバンド「北野タダオとアロージャズオーケストラ」に入団。日野皓正、TOKU、MALTA、寺井尚子、北村英治、阿川泰子、マリーンなどと共演。

NHK 朝の連続ドラマ「風のハルカ」でトランペットの吹き替えと、役者の渡辺いっけい、三浦理恵子の演技指導を担当。2011年「第4回なにわジャズ大賞」を受賞。

大阪芸術大学、ドルチェミュージックアカデミー、アローミュージックスクールで後進の指導にもあたっている。

河村英樹（テナーサクソ）



神戸市出身 大阪音楽大学器楽科卒業

古谷充、宮本直介、近秀樹、唐ロー之、「ヒューマン・ソウル」などのバンドを経て 2000 年に上京。

向井滋春、福村博、池田芳夫、大坂昌彦、井上陽介、増原巖、高瀬龍一、「角田健一ビッグバンド」などを経て再び関西へ。

2016 年「なにわジャズ大賞」受賞。リーダーアルバム「LIVE」、「PLAYS BALLADS」を発表。

現在は「大塚善章クインテット」、「コードレスカルテット」、自己のカルテット等で活躍中。

岩田晶（ベース）

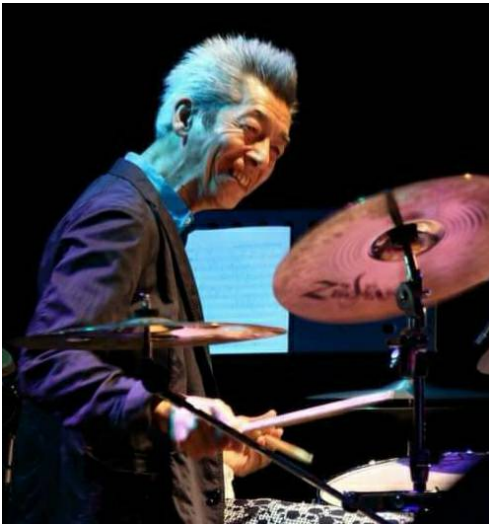


ビートルズの影響を受けて音楽を始め、1980 年 プロデビュー。原体験がビートルズであるため、幼少の頃から色々な音楽にオープンマインドで受け入れる感覚を身に付けた。

ジャズ、ロック、ブルース、ブラジル音楽、インド音楽、ポルトガル音楽、ハワイアン、邦楽等々世界中の音楽に精通しており、競演ミュージシャンの幅の広さにおいて右に出るものはいない。

現在はジャズをメインに、あらゆる音楽ジャンルで広く深く縦横に活躍している。

上場正俊（ドラムス）



1950年 大阪市出身。関西学院大学入学時よりドラムを始め1年後にプロ入り。

「宮本直介クインテット」、「上田正樹とサウス・トゥ・サウス」を経て自己のフュージョングループ「ソウル・エアー・ライン」を結成。

その後はジャズに深く傾倒し、「田中武久トリオ」、「古谷充カルテット」に参加しながら、マル・ウォルドロン、デューク・ジョーダン、ジョー・ヘンダーソン等、それぞれの日本ツアーに参加。

1998年「中山正治ジャズ大賞」、「なにわ芸術祭新人賞」を受賞。

2018年より現在まで毎年、エイズ財団主催の「エイズ啓発ジャズ・フェスティバル」の企画並びにプロデュースを担当している。

川添光代（ボーカル）



大阪市出身 城東区在住 区内の製造業“株式会社久宝金属製作所”前社長

仕事のストレスで体調を崩し、リハビリとして歌を習い始めてジャズの世界に入った。

伊藤君子、田中武久、竹中真に師事。2010年頃よりプロ活動を始め、「大塚善章トリオ」とも年数回共演。「ジョシュ・ネルソン・トリオ」とのライブCD発売中。

本人談「昔の歌も、海外の歌も、今を生きる私たちの歌として歌いたいと思っています。」

(倉川久美子クインテット)

倉川久美子 (ボーカル)



徳島県出身 城東区在住 大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業

音大で学んだ声楽の技術を生かして地元で合唱団を指導、その経験を生かしてシャンソンのプロテストを受け合格。

現在、関西各地のライブ・ハウスやホテル等で音楽活動を展開し、菅原洋一、グラシェラ・スサーナ、雪村いずみ、山本リンダ、弘田三枝子などと共演。

シャンソンのみならずラテン、タンゴ、カンツォーネ、映画音楽等ジャンルを問わず心に響く歌が歌えてトークも楽しいと評価が高く、CDも2枚好評発売中。

アルベルト田中 (ピアノ)



大阪芸術大学ピアノ科卒業後、ウィーンに留学。その後ブルーノート・ジャズ・スクールで研鑽を積む。

「関西フィルハーモニー管弦楽団」と共演。現在大阪を拠点に全国にて歌手のサポート、レコーディング、プロデュースを担当。海外でのコンサート出演も多い。

クラシックで鍛えた高度なテクニックと繊細な音色、多彩なコーラスワークに定評がある。

また役者として芝居や朗読にも取り組んでいる。

中村安彦（ベース）



20歳からプロとして活動を始める。関西を中心にジャズ、ポップス、カンツォーネ、シャンソンなどのコンサートへの出演やレコーディングに参加。

演奏活動と平行して、TV「ダウンタウンDX」等のメディアやテーマパーク「ハウステンボス」などへの楽曲提供、自動歌唱ソフト「VOCALOID」のサウンド・クリエイターなど多方面で音楽活動をしている。

山下憲治（キーボード）



山口県出身 ピアノ・キーボード演奏家として宝塚歌劇団、NHK、多数のアーティストのコンサートの出演やキャラクター・ショーでの指揮等活動の場を広く持ち、TV「ドラマ・ど根性ガエル」「おちょやん」などのサウンドトラック録音にも参加。

作曲・編曲家としては、CMソングや、多数のアーティストへの楽曲提供、テレビ・ラジオのジングル制作、フルオーケストラ・アレンジ、コンピュータでの音楽制作などをこなす。

ネオクラシック・ポップス・ユニット「Cool an Temporary」で1stアルバム「ADAGIO」をリリース。大阪音楽

大学短大ポピュラー科非常勤講師。

三夜陽一郎（ドラムス）



16歳よりドラムを始め、ヤマハ音楽院卒業後プロとして活動開始。

2000年レーナ・マリアのサポート、2001年韓国ジャズ・フェスティバルにゲストとして参加。

その後、TV「クイズヘキサゴン」のエンディングテーマのシンガーである RYOEI のレコーディング及びツアーに参加。また TV「てっぱん」「カーネーション」のレコーディング、大平サブローのサポートとその活動は多岐に渡り、後進の指導にも取り組んでいる。